

# 柏原市立国分中学校 学校教育目標

知・徳・体の調和的発達を遂げ、自らの生き方の充実を目指し、主体的で創造的な人格の完成を図る。

1. 自ら学び、ものごとを客観的に考える力をつけよう。
2. 人の立場を思いやり、協力して、社会のためになる心を磨こう。
3. 心身を鍛え、進んで実行し、粘り強くやりぬこう。

## 教育方針

1. わかる喜びと意欲のもてる授業づくり。
2. みんなが安心して生活できるような自律、自治のある学校づくり。
3. 人間関係力と自己表現力の育成できる活動づくり。
4. 美しく、感動に出会える環境や体験の場づくり。

## めざす学校像

1. 知・徳・体の調和がとれ、主体的で創造的な子どもの育成を図る学校
2. 全ての生徒を全ての教職員で育て、子どもも大人も共に伸びる学校
3. 学校のことを積極的に公開し、保護者・地域から信頼される学校

## めざす教職員像

1. 豊かな人間性 → 優しさ・厳しさ・親しみやすさ  
子どもや保護者と共感でき、子どもの可能性を信じて伸ばすことに喜びを感じる人
2. 確かな専門性 → 指導力・企画実行力  
幅広い識見を持ち、専門的知識・技能に基づく指導力を発揮する人
3. 開かれた社会性 → 信頼・連携  
社会人としての分別を備え、保護者・地域から信頼される人

## めざす子ども像

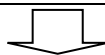
自分の思いを自分のことばで表現できる子ども

校 訓                      礼儀      時刻      清潔

『 時を守り 場を清め 礼を尽くす 』

※令和5年度『学校力向上のために』全ての生徒を全ての教職員で育てよう！

大切にしたい3つのワーク⇒教職員の チームワーク、フットワーク、ネットワーク



大切にしたい5つの教職員の集団作り・働きがいのある職場 ⇒ 生徒の見本

☆教職員一人ひとりの持ち味を活かし、認め合い支えあう教職員の集団作り

☆情報共有と肯定的評価・自己有用感に満ちた職員室の雰囲気

☆学校組織の一員として研修に臨み、成果や学びを共有する「学び続ける」教職員集団

☆常に学校組織の一員としての自覚を持ち、生徒、保護者、学校外の人と向き合うプロ意識

☆外部人材の力を活用し計画的で効率のよい業務遂行、働き方改革



業務の「見える化」、会議の効率化と情報共有スピード化

※教職員力の向上 一人ひとりの個性に応じて教職員力アップをめざそう

☆人間力・・・人を好きになるプロ、人としての優しさ、包容力、親しみやすさ

☆授業力・・・基礎、基本の学力の定着、個に応じた指導、言語活動を意識した日々の授業研究、公開授業・研究授業への積極的な取り組み

☆子ども理解力・・・肯定的評価、エンパワメント集団づくり、個に応じたカウンセリング力

☆生徒指導力・・・徹底して寄り添う（あなたを愛しているというメッセージ）  
意識すればできること（あいさつの励行、掃除の徹底、時間の厳守など）  
に価値を見だし率先垂範  
いじめについての実態把握と取り組み、危機管理能力

☆「共に」～withの精神～・・・子どもたちと共に学び、共に活動し、共に苦しみ、共に涙し  
共に喜ぶ

☆家庭・地域からの信頼・・・保護者対応力（電話、面談）、相談対応、PTA 活動や健全育成会活動への参加

☆情報発信力・・・学校通信、学年通信、学級通信、教科領域通信、事務連絡、ホームページ  
掲示物

☆評価・分析力・・・実践したことを適切に評価し、分析、まとめる力

☆学校経営参画力・・・予算、見通しを考えての企画、実行力、学校関係機関との調整・連携  
学校経営や学級経営のアイデア、ビジョン

☆コミュニケーション力・・・子どもや保護者の話をじっくり聞き受け止めることができる力  
効率・効果的な説明力、笑顔のあいさつ力

☆チームワーク力・・・ホウレンソウ（報告、連絡、相談）、協力、連携、支え合い

## 令和5年度 重点目標

### (1) 学力向上に向けての取り組み

生徒の学習意欲をひきだす「分かる授業」  
「ユニバーサルデザインに基づいた授業」

- ・授業の国中スタンダードの実践
- ・教科会の充実
- ・研究授業の充実
- ・家庭学習帳の工夫
- ・ICT機器の活用
- ・指導と評価の一体化（PDCAサイクル）

安心できる学習環境づくり

- ・生徒が主体的につくる学習規律
- ・班を生かした学習集団作りや教え合い
- ・伸び伸びと自己表現でき自尊感情を育む学級、学年経営
- ・校内適応指導教室（ぼかぼかルーム）の運営。

### 知・徳・体の調和

### (2) 「エンパワメント」教育の推進

人権教育、道徳教育を基盤とし、班を生かした集団作りなどを通して、生徒が主体的に自信をもって行動できる力を育む。いじめを許さない取り組みを推進し、自分も相手も大切にすると人権感覚を培う。

### (3) 個に配慮した教育の推進

- ・特別支援教育のあり方について、全教職員の共通理解を図り、支援コーディネーター・生徒指導主事・養護教諭・不登校対応担当者の4者の連携のもと、不登校対応及びぼかぼかルームの運営を行う。
- ・全生徒の課題を全教職員が共通理解し、個々の生徒の進路保障に努める。個人情報には特に注意を払う。

### (4) 安心・安全な学校環境の推進

日々の生徒指導や保健指導であいさつ、掃除、正しい言葉遣いを促し基本的な生活習慣を自らつくっていけるように取り組む。

### (5) 「コミュニケーション力」の向上

班活動、生徒会・中央委員会・各専門委員会のさらなる活性化をはかり、生徒の表現力を育成する。

### (6) 情報教育の充実

- ・コンピュータや情報通信ネットワークの知識と共に、情報モラルを身につけ、適切に活用できるようにする。
- ・学校の取り組みをホームページなどで積極的に発信し開かれた学校をめざす。

### (7) 教育相談の充実

生徒や保護者の思いを受けとめ、全ての教職員が専門的な視野で教育相談を行う体制づくり

### (8) 肯定的評価活動の推進

すべての教育活動に肯定的評価活動を取り入れ、子どもたちの学習意欲や、自己有用感、自尊感情を高めると共に教職員自らのコミュニケーション力の向上に努める。